5 電気工事

⚠ 警告

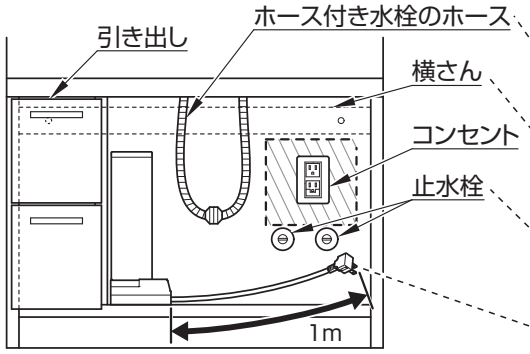
禁止
指定する電源以外は使用しない
ヒーターの断線・火災などの原因になります。

アース接続
電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う
誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

必ず実行
漏電遮断器を取り付ける
感電や火災の原因になります。

1 コンセントを設置する

電源コード（1m）が届く範囲内に、既設のコンセントがない場合、
図を参考に専用のコンセントを設置する。
※魔法びん電気即湯器の消費電力は、350W（AC100V 50/60Hz）です。
規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。



注 意

コンセント設置可能範囲

ホース付き水栓のホースとかさならない
（シャンプー水栓、ハンドシャワー付き水栓など）

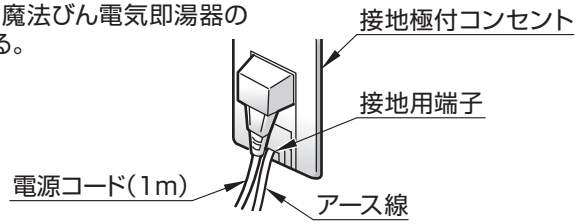
キャビネットの横さん、引出し部にかからない

止水栓より上

電源コード（1m）が届く範囲内

2 アース工事

必ず対応したコンセント工事を行い、魔法びん電気即湯器の
アース線を接地用端子に必ず接続する。



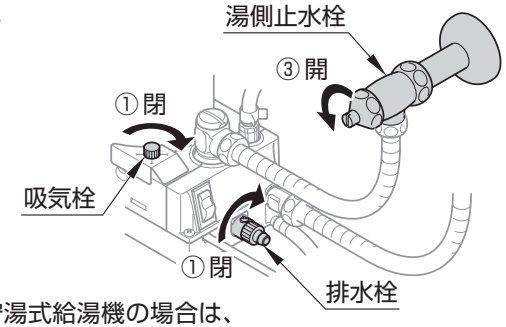
6 試運転

⚠ 注意

禁止
タンク内に水がないときは、絶対に沸上げ運転（電源）スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

1 魔法びん電気即湯器への給水

① 吸気栓・排水栓が閉まっていることを確認する。



② **給湯機の種類が「瞬間式」の場合**

給湯機の運転スイッチを「切」にする。
※リモコンがないタイプの給湯機の場合は、
給湯機本体の電源プラグを抜いてください。

給湯機の種類が「貯湯式」の場合

給湯機の設定温度を40℃以下にする。
※給湯機の設定温度が40℃以下にできない貯湯式給湯機の場合は、
そのまま③以降の作業を実施ください。
その場合、水栓から水を出す際に空気が混ざることがありますが、
しばらくの間使用していると空気の混ざりはなくなります。

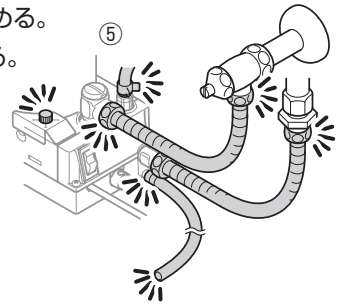
③ 湯側の止水栓を開け、湯水混合栓の湯側を全開にする。

注 意

約20秒でタンク内は満水になりますが、配管やタンク内の汚れを取り除くため、5～6分程度流してください。

④ 水栓から安定して水が出ることを確認し、湯水混合栓を閉める。

⑤ 連結管接続部などからの水が漏れていないことを確認する。



⑥ **給湯機の種類が「瞬間式」の場合**

給湯機の運転スイッチを「入」にする。

給湯機の種類が「貯湯式」の場合

給湯機の設定温度を元に戻す。

注 意

フィルターが詰まると水量が少なくなりますので試運転後、フィルターの掃除を行ってください。 ※掃除の方法は取扱説明書を参照してください。

6 試運転（つづき）

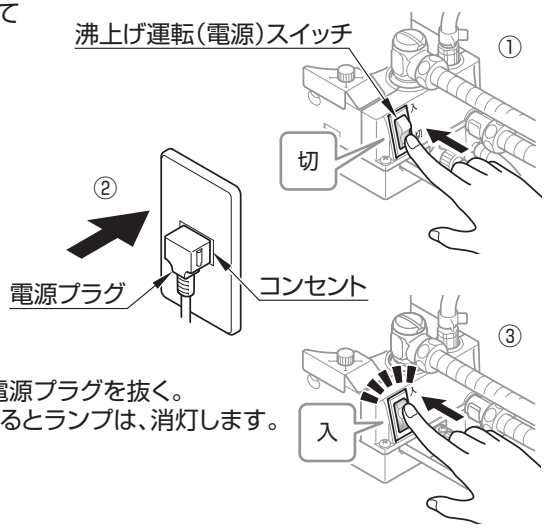
2 魔法びん電気即湯器への通電

① 沸上げ運転（電源）スイッチが「切」になっていることを確認する。

② 電源プラグをコンセントに差し込む。

③ 沸上げ運転（電源）スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。

④ 沸上げ運転（電源）スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。
※沸上げ運転（電源）スイッチを「切」にするとランプは、消灯します。



空焚きリセット方法

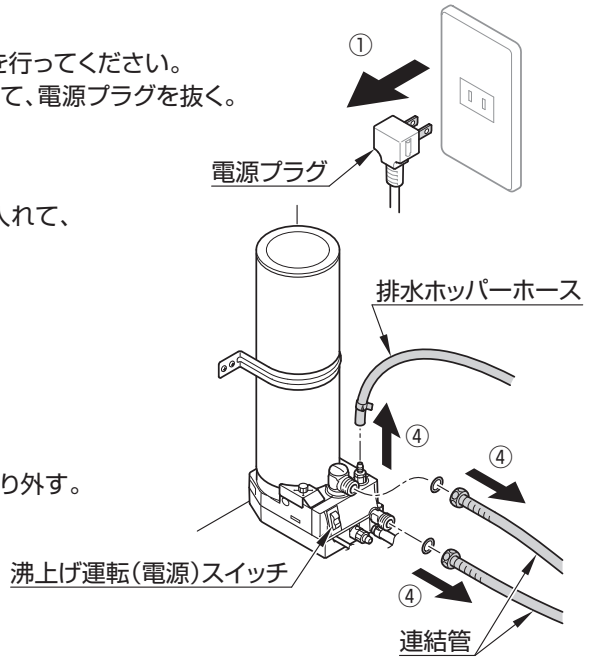
※万一空焚きをした場合は、以下の処置を行ってください。

① 沸上げ運転（電源）スイッチを「切」にして、電源プラグを抜く。

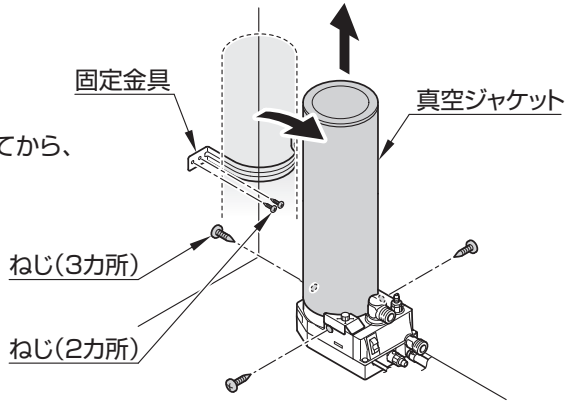
② P.13 ① の手順に従いタンクに水を入れて、タンク内の温度を下げる。

③ 湯側の止水栓を閉める。

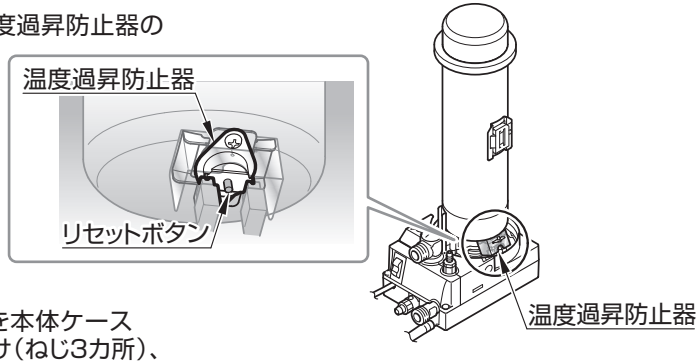
④ 連結管および排水ホッパーホースを取り外す。



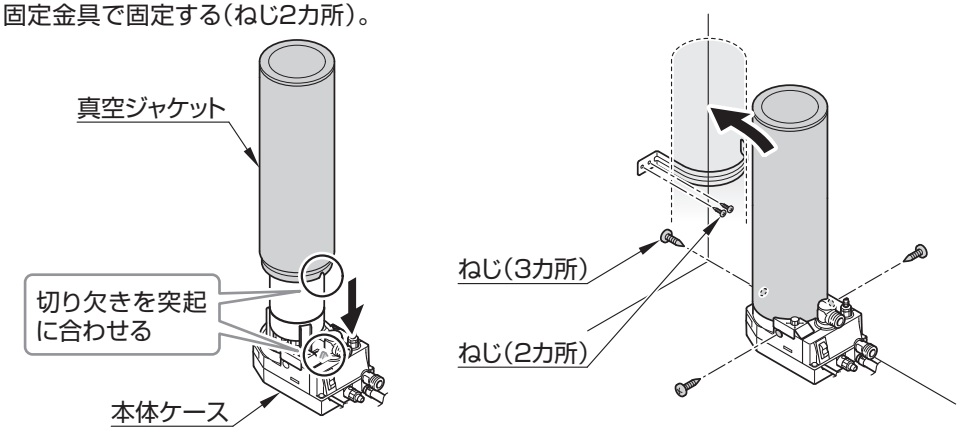
⑤ 固定金具を取り外し（ねじ2カ所）、魔法びん電気即湯器を手前に引き出してから、真空ジャケットを取り外す（ねじ3カ所）。



⑥ タンクに取り付いている温度過昇防止器のリセットボタンを押す。



⑦ 真空ジャケットの切り欠きを本体ケースの突起に合わせて、取り付け（ねじ3カ所）、固定金具で固定する（ねじ2カ所）。



⑧ 上記④で外した連結管、排水ホッパーホースを再度取り付け、湯側止水栓を開ける。

⑨ 電源プラグを差し込み、沸上げ運転（電源）スイッチを「入」にする。

7 機器内の水抜き

⚠ 注意

必ず実行

水抜きを行うときは、必ず沸上げ運転（電源）スイッチを「切」にする
空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。

引き渡しまでに凍結のおそれがある場合は、次の要領で機器内の水抜きを行ってください。

タンク内の水抜き

① **給湯機の種類が「瞬間式」の場合**

給湯機の運転スイッチを「切」にする。
※リモコンがない場合は給湯機本体の電源プラグを抜く。

給湯機の種類が「貯湯式」の場合

給湯機の設定温度を40℃以下にする。
※温度変更ができない場合は、排水の温度が高温になる場合がありますので、注意して以下の排水作業を実施してください。

② 魔法びん電気即湯器の沸上げ運転（電源）スイッチを「切」にし、電源プラグを抜く。

③ 湯水混合栓の湯側を開け、約2分間出し続ける。

注 意

給湯機の設定温度を変更できない場合は、排水温度が高温になる可能性があります。

④ 湯水混合栓の湯側を閉め、湯側の止水栓を止める。

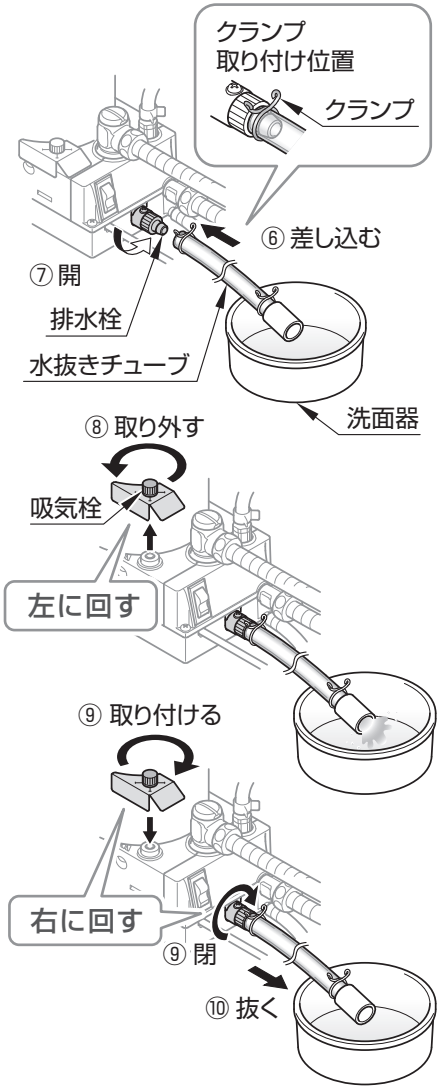
⑤ 混合栓の湯側を開けて 水が出ないことを確認する。

注 意

即湯器内に水圧がかかったまま排水作業を行うと、排水栓や吸気栓より水が勢いよく出ることがあります。

⑥ 排水栓に付属の水抜きチューブを差し込み、クランプを取り付ける。
水抜きチューブの先に受け皿（洗面器など）を置く。
※約1.5Lの水が排水されます。

⑦ 排水栓を左いっぱいまで回す。
※水抜きチューブがよじれないように回してください。

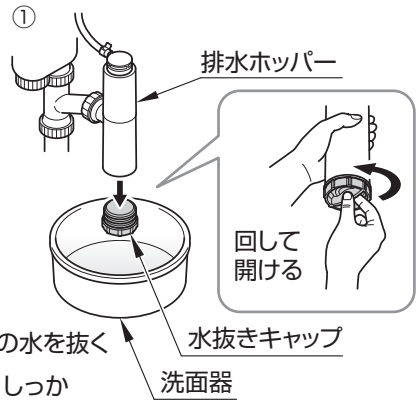


⑧ 吸気栓を左に回して取り外し、排水をはじめる。
※水抜きは約4分かかります。
※水を抜く際は、必ず洗面器などで受けてください。
※洗面器から水があふれそうな場合は、吸気栓を取り付けると排水は止まります。
※水を抜く際は、空気を吸い込む音がすることがありますが、故障ではありません。

⑨ 排水終了後、排水栓を閉め、吸気栓を取り付ける。

⑩ 排水栓、吸気栓が閉まっていることを確認し、クランプを取り外し、水抜きチューブを抜く。

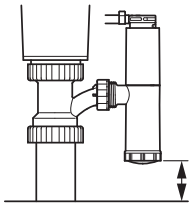
排水ホッパーの水抜き



① 排水ホッパーの水抜きキャップを開けて排水ホッパー内の水を抜く

※水抜きキャップを開ける際は排水ホッパーを手でしっかり持つようにしてください。

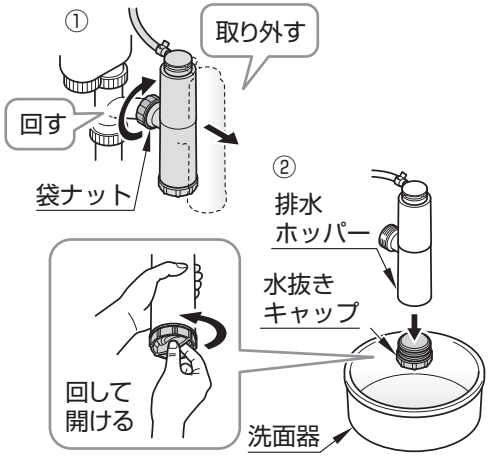
水抜き作業スペースがない場合



① ホッパー接続継手の袋ナットを回し、ホッパー本体を取り外す

② 排水ホッパーの水抜きキャップを開けて排水ホッパー内の水を抜く
※水抜き後は排水ホッパーの水抜きキャップを閉めてください。

③ ホッパー接続継手にホッパー本体を取り付ける



⚠ 注意

必ず実行

水抜きキャップを開ける際は、排水ホッパーを手でしっかり持つ
また、水抜きキャップを着脱する際は、ペンチなどの工具は使わない
部品が破損し水漏れするおそれがあります。

寒冷地での設置

沸上げ運転（電源）スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給湯、出湯側の各連結管と排水パイプに保温材または、ヒーターを巻いてください。